

愛

ちゃん

ゆく!

第36話

悔しい時もありますが

— 県議体験記 —

県議会の「一般質問」は、1回あたり25分と決まっています。あらかじめ質問するテーマをいくつか決めて、調査や聞き取りをしながら、数週間かけて質問の原稿を書いています。だいたい5000文字だと18分くらいで読めるので、残り7分の時間を使って再質問をします。質問内容は事前に県の執行部に伝えしていますが、再質問は、最初の質問の答弁を聞いた後で、その場で考えて質問するので、議員も執行部もとっさに判断しなければならず、緊張します。「もっとこう言えばよかった〜!」と悔



時計（左上）を見ながら、納得いかない答弁には何度も再質問することもあります。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第36号]
発行:2025年10月(2025年9月議会報告)
-
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808



暑い夏が過ぎて、過ごしやす
い季節にほっとしたところですが、いかがお過ごしでしょうか。

今年は戦後80年ということで、戦時を振り返る番組などに触れることも多く、平和への意識を再確認する夏となったのではないのでしょうか。

ある岡山空襲についての企画では、国がしきりに「焼夷弾は怖くない」と国民に教えていたために、空襲時にいち早く逃げることをせず、消火しようとして亡くなってしま



原発事故の刑事訴訟の報告会にて。大津波が想定されていたにもかかわらず、事故前に対策を取らなかった東京電力の責任は大きいです。

大塚愛

県政レポート(2025年10月発行) [第36号]
オミナエシの花言葉: 美人、はかない恋、親切 (イラスト: 森シホカ)

いっぽ通信

P.02-03 香りに苦しむ「香害」とは

P.01 戦後80年、止められなかった戦争の教訓をいかして

P.02-03 豚の自然放牧／香害啓発パネル展

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2025年7月〜9月)

日々のうごき

2025年7月〜9月

- 7.1 県内視察 (岡山西警察署、建部町小倉堤防)
- 7.3 県営グラウンド・ボール遊びの相談
- 7.4 災害支援ネットワークシンポジウムonline
- 7.5 國友さよさん演説会、七曲神社七夕みたま祭@御津
- 7.7 盆踊り練習@竹枝小学校
- 7.10 岡山市PTA協議会会長会
- 7.11 岡山市地域と学校の協働フォーラム、フラワーデモ
- 7.12 手話講座@建部町公民館、緑と水の道総会@伊島
- 7.14 長谷川ういこさん街宣、学びの多様な学校のお話@市教委、少子化要因「見える化」ツール説明会
- 7.15 常任委員会(総務)
- 7.16 岡山県子ども若者未来会議、たけバ部@建部中
- 7.17 香害パネル展打ち合わせ
- 7.18 みつカフェ@岡山御津高校、竹枝小150周年実行委員会
- 7.19 倉敷芸術科学大学OC、子ども食堂ネットワーク研修会
- 7.22-23 県内視察 (美咲・真庭・西粟倉・津山)
- 7.24 健康診断
- 7.25 常任委員会、個人懇談(一宮高)、DV防止サポートシステムをつなぐ会おかやま
- 7.26 加茂川ホリデイフォレスター、建部はじめてコーラス塾
- 7.27 イエナプラン学習会@県立図書館
- 7.28 県内視察(リサーチパークインキュー

- シヨンセンター)、みどり岡山定例会議子どもの居場所づくり講座online、みつカフェ会議online
- 7.30 県内視察(東岡山工業高校)
- 7.31 みつカフェ、安全・安心おかやま県土づくり推進大会2025、香害パネル展ミーティングonline
- 8.1 豚の放牧見学@京都てまひま農園
- 8.2 川ながれ遊び@建部・旭川
- 8.3 ビースサイクル@岡山県庁、ユニオンおかやま定期大会、PFAS問題講演会@立憲自治の会総会
- 8.5-8 県外調査(兵庫、大阪、沖縄)
- 8.9 第80周年光復節
- 8.10 朝日高校一中十日会、「未来へのバトン」上映会
- 8.12 常任委員会
- 8.14 竹枝夏祭り
- 8.20 香害の院内集会&要望書提出online
- 8.21 常任委員会、香害パネル展準備@子ども図書館ほたる
- 8.22 産廃施設訪問@御津、県政市政おはなし会@阿輝公民館
- 8.23 映画「原発を問う」
- 8.24 奉仕作業@竹枝小、移動ネットおかやま総会@新見
- 8.27 常任委員会、たけバ部、高レベル放射性廃棄物最終処分説明会
- 8.28 特別委員会(子ども応援・教育推進)、白石齊・孝子二人展、女性差別撤廃条約の懇談

的な戦争支持に変わっていったことなど、主に議会とメディアの問題が述べられました。これらのことは、今の時代でも過ちを繰り返さないよう、心に留めておくべきことだと思います。

80年が経つ今、日本は防衛費の大幅な増

額や武器輸出を進めていますが、そのことがより国際的な緊張を高めてしまうのではないかと危惧されます。またその影響で医療や福祉、農業など、暮らしにとって必要な予算が抑えられつつあるこ



建部町吉田地区の秋祭りで、長女(高1)と次女(小5)が獅子舞を務めました。建部は子どもが神楽で活躍している地区が多く、女の子も頑張っています。

とにも問題を感じます。経済的な閉塞感から、とすれば排外主義が助長されかねない昨今ですが、差別や排除ではない寛容さをもって、足元から平和を築いていきたいと思います。

9月議会一般質問から

柔軟剤などの香りに苦しむ「香害」



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら
YouTube

平和の実現について

Q. 戦後80年を迎え、戦争を体験された世代の方が少なくなる中、世界では紛争が続く、際限のない抑止という名目のもとで各国が軍備を増強しています。今年の平和記念式典で広島県の湯崎知事は、核兵器廃絶を強く訴えるとともに、「抑止力はソフトパワーや外交を含む広い概念であるはず」と述べられました。国内外では排外主義や分断をもたらす主張が増していることも心配されますが、差別や格差という構造的暴力をなくしていくことが平和にとって重要です。知事はこの議会でも、排外主義を許しては



質問を終えたあとに、県議会の傍聴席にて。傍聴に来ていただけることは、とても励みになります。香害当事者の方たちはネット視聴で見てくださいました。

いけないという姿勢を示されましたが、恒久平和の実現に向けてどのようにお考えですか。
知事 平和が永く引き継がれていくよう、戦争の悲惨さと平和の大切さを、世代をこえて県民に伝えていきたい。湯崎知事の演説は、まさに魂の叫びだと感じた。戦争に突き進まないためには、冷静な判断が重要であり、一人ひとりの努力なくして、世界はよくなるなと思う。

香害への対策

Q. 柔軟剤の香りなど、身近な生活用品から発せられる化学物質によって、頭痛や吐き気など体調不良を訴える人が増えています。化学物質過敏症の患者数は、全国で100万人とも言われていますが、私もこれまで様々な相談を受けてきました。これまで普通に生活されてきた方が、洗剤使用や農薬散布などのきっかけから、人工的な香りに顕著な体調不良を感じ

るようになって、寝込んだり、仕事を辞めざるを得なくなるなど、世界が一変するような大変さがあることを身近に感じてきました。県としてより積極的に啓発することが必要ではないでしょうか。
保健医療部長 柔軟剤などの香料で、頭痛など様々な症状を訴える方がおられることは認識している。香りで困っている人もいることを伝えるポスターを貼って周知できるように、関係係局や市町村と連携して、啓発をしていきたい。
Q. 柔軟剤などの香料カプセルは、外側の膜がプラスチックでできているため、マイクロプラスチックの1種となっています。EUでは2029年に禁止することも決まっていますが、海ごみ対策の中でこの香りのマイクロカプセルについても伝えるべきではないですか。
環境文化部長 今後、海ごみ対策の啓発パンフレットに盛り込むようにして、県民に周知・啓発したい。
Q. 化学物質過敏症の方は、災害時の避難に不安を感じています。体調不良の原因となる化学物質がたくさん使われていると、避難所に行くことができません。換気やスペースの確保、避難所で使う製品や支援物資など、災害時の避難所における配慮について、

市町村に伝えていただきたいと思います。
危機管理監 柔軟剤などの香りにより、頭痛など症状の出る方が避難所に逃げることを躊躇することのないように、必要な配慮を行うことは重要と考えており、市町村の避難所運営に携わる方に助言していきたい。
Q. 全国約1万人の子どもを対象に行った香害の実態調査では、約10％が香害で体調不良を感じたことがあり、約2％はそのために不登校傾向にあることがわかりました。県内でも化学物質過敏症のために登校できなくなった生徒がいると聞いていますが、どのように対応しますか。

教育長 国が作成したポスターを市町村教



厚労省など5省庁が作成した啓発チラシ。学校やお店などに掲示が進みますように。

委や県立学校に配布し、柔軟剤などの匂いで体調不良を訴える子どもがいる場合は、換気や配席の工夫など、個別に配慮した環境改善に取り組むよう研修会で指導している。

原発事故の除染土の再生利用

Q. 福島県内の除染で出た土について、国は放射性セシウムが8000Bq/kg以下の土は、公共工事などで再生利用することを目指していますが、これまでの100Bq/kg(原子炉等規制法)より80倍も高い基準で再利用するのはおかしいと思います。また、土木事業に利用する場合には、災害が起こった際の流出も懸念されます。受け入れについては慎重に考えていただきたいですが、知事はどのように考えていますか。
知事 再生利用にあたっては、住民の理解が得られることが重要で、国の方で安心感、納得感を醸成することがしっかり行われることが前提になると考えている。

ピアサポート活動

Q. 障がいのある方が、同じ障がいのある方



9月23日は今年から「手話の日」になりました。11月15日には東京2025デフリンピックが始まります。などと冒頭に手話を使って表現しました。

の相談に乗ったり、交流したりする活動をピアサポート活動と言います。精神障がいのある方のピアサポート活動は、回復の支えとなり、一般の方や支援者が障がいについての理解を深めるためにも役立っていて、当事者だからこそ伝えられる言葉、わかりあえる思いを活かした大切な活動だと思います。ピアサポーターの養成や派遣を活発にされている岡山市のように、県の活動も充実していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
保健医療部長 ピアサポート活動をさらに充実できるよう、新たに県のホームページに派遣事業や養成研修の情報を載せ、派遣先の掘り起こしや、当事者の声や他団体を参考にした研修内容の見直しなどを行っていきたい。

豚の自然放牧
@京都府綾部市(8月1日)

耕 作放棄地を利用した豚の放牧の見学に伺いました。豚特有の「鼻耕」で根こそぎ掘り返して草を食べてくれるので、だんだん土の地面が現れ、農地の維持にも繋がっています。広い農地でのびのび放牧されているため、臭いはほとんどなく、また豚を放牧すると、野生のイノシシが周



畜産を学ぶ高校生たちと一緒に見学。京都府綾部市の「てまひま農園」にて。辺に近づかなくなる効果もあるそうで、最

おもな「活動記録」から

近は「うちの農地も使ってほしい」という方が増えているそうです。
健康な飼い方のせいか、そのお肉の味が驚くほど美味しく、通常の何倍もの値段で販売できているとのこと。環境、人、動物、いずれにとっても良い自然放牧に魅力を感じました。

香害リレーパネル展

@赤磐・岡山・玉野(8月22日～12月23日)

「香害」の啓発パネル展を、当事者や有志の方達と県内4カ所で開催しています。香りは目に見えず、感じ方には個人差もあることから、なかなか困って

いる人が声をあげにくい問題と言えます。会場で見てください方からは、「自分の家族も同じように苦しんでいるので、もっと多



くの人に知ってほしい」、「初めて知ったけれど、大変なことだと思った」、「私も柔軟剤の香りは苦手」など、沢山の感想が寄せられました。来年以降も引き続き各地で開催できればと思います。また、県内で香害にお困りの方などを対象にアンケート調査を行っています。右のQRコードからご回答ください。



回答はこちら
から